

平成30年度 前期教育活動についてのアンケート結果について

ひたちなか市立勝倉小学校長 飛田 裕行

秋冷の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、先日実施しました教育活動についてのアンケートにつきまして、結果がまとまりましたので、ご報告いたします。皆様からいただいたご意見を今後の本校の教育活動に反映させていきたいと思っております。今後とも、教育活動にご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

(1) 肯定的な回答が多かった項目（「そう思う」「ややそう思う」の回答合計が9割以上の項目）

11 お子さんは、毎日朝食を食べていますか。	97.8%
14 学校はお子さんが安心して生活できる場になっていると思いますか。	90.4%
16 学校は各種たよりや家庭への連絡等で、必要な説明や連絡をしていると思いますか。	90.4%

(2) 肯定的な回答が少なかった項目  
（「そう思う」「ややそう思う」の回答合計が全体の8割未満の項目）

4 学校は「家庭学習の手引き」や丸つけ、励まし等で、家庭学習を奨励していますが、お子さんは家庭学習に意欲的に取り組んでいますか。	68.9%
5 学校は、基礎的・基本的な学習内容の定着に力を入れて指導に取り組んでいますか、お子さんには基礎・基本が身に付いていますか。	79.2%
7 お子さんは、校内や地域で進んであいさつをすることができますか。	73.6%

(3) お子様には、勉強以外では一番どんなことを身につけさせたいとお考えですか。  
（回答者全体のなかから1割を超えた意見）

○ 友達を思いやる心	29.9%	○ 礼儀、あいさつ、言葉遣い	16.8%
------------	-------	----------------	-------

**項目11** 「お子さんは毎日朝食を食べていますか。」

心身ともに健全な成長を図るには、規則正しい食習慣がとても大切なことです。特に朝食は、子供たちが午前中活動するためのエネルギー源となります。そこでご家庭でしっかりと朝食を摂って登校してくる児童が100%近いという結果となっていることから、集中して授業に取り組めたり、元気に活動したりするもととなっていると思います。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

**項目14** 「学校はお子さんが安心して生活できる場となっていると思いますか。」

学校が安心して生活できる場となるには、人的環境と物的環境の両面が関係するかと思います。まず、人的環境では良好な人間関係づくりが必要です。学校では、QUアンケート等を活用しての学級づくりを外部から講師を招いて研修をしています。子供たち一人一人にとっての心の居場所がある学校を目指していきます。また、物的環境では、学級での生活や運動場、体育館等を安全に使用できるようにしていかねばなりません。そこで職員の安全点検を入念に行っています。子供たちがさらに安心して生活できる環境作りに努めます。

**項目16** 「学校は各種たよりや家庭への連絡等で、必要な説明や連絡をしていると思いますか。」

学校と家庭が同じ考えで子供たちの指導をしていくことが大切です。そこで、学校の様子を知っていただくために学級担任は、ご家庭におたよりや連絡帳、電話等でお知らせをしているところです。また、学校のHPでも、一日の出来事を日記形式でお知らせをしています。しかし、まだ必要なことが伝わらなかったということを知ることがあります。今後はさらに家庭への連絡を密にして連携して教育活動をすすめていきたいと考えています。お気づきのことがありましたら、どんなことでも結構ですのでご連絡をお願いします。

**項目4** 「学校は「家庭学習の手引き」や丸つけ、励まし等で家庭学習を奨励していますが、お子さんは、自主学習に意欲的に取り組んでいますか。」

昨年度に引き続き肯定的な回答が少なかった項目です。学習したことは、復習を繰り返すことによって身に付いていくといわれています。確実な定着を目指すには家庭学習は欠かせないものと考えます。子供たちが意欲をもって家庭学習に取り組めるような魅力的な課題が出せるように工夫をしていきます。そして、ご家庭におかれましても学習に取り組む環境づくりをお願いします。学校でも、今後も継続して支援をしていきたいと考えます。

**項目5** 「学校は、基礎的・基本的な学習内容の定着に力を入れて指導に取り組んでいますか、お子さんには基礎・基本が身に付いていますか。」

学校では、子供たちが自分の意見を発表したり友達の発表を聞いて考えを深めたりする「学び合い」をとおして、確かな学力を身に付けさせようとしています。少しずつグループでの話し合いが円滑に進めることができるようになってきました。基礎・基本を確実に身に付けさせたいという充実した話し合いができるようにしていきたいと考えます。

**項目7** 「お子さんは、校内や地域で進んであいさつをすることができますか。」

今回のアンケートの中で、「登校時に子供たちと出会うあいさつをしたが、ほとんど返ってこなかった」というご意見がありました。学校では、元気のよいあいさつができることを週目標にしたり、運営委員会が中心となってあいさつ運動をしたりしています。しかし、元気のよいあいさつができているとはまだ言えない状態です。あいさつの大切さを説くと同時にその場、その場での指導を継続していきたいと思っております。ご家庭でも声を掛けていただければと思います。

**身に付けたい力**

一番多かった意見が「友達を思いやる心」でした。学校では、集団での生活の仕方を学ぶ場でもあります。そのなかで、集団生活を円滑にする一番の要素は「友達を思いやる心」であると考えられます。さまざまな場面で子供たちに指導をしていきたいと思っております。

次に多かったのが「礼儀、あいさつ、言葉遣い」でした。これは、上記の「項目7」でも書きましたが、あいさつが礼儀や言葉遣いも通じるものと考え、心と心を通じ合えるようなあいさつが交わせるように指導をしていきたいと思っております。

**スクールマニフェストについて【今年度中の達成に向けて教育活動の充実を図っていきます。】**

マニフェスト	10月現在の進捗状況
漢字力・計算力テストの合格者数 85%以上	再テストも含めて89.3%です。
コミュニティーゲストの活用 各学年2回以上	10月現在で全学年合計で10回活用
自分から進んであいさつのできる児童85%以上	今回のアンケートで73.6%
年間50冊以上の読書（300冊）80%以上(7)	50冊以上は51%、300冊以上は12人です。
朝食を食べて登校する児童 85%以上	「そう思う」だけで87.6%で達成。
体力テストA+B 55%以上	56.6%で達成できました。